

## 作業計画と実績

2017年12月5日現在

月日	曜日	予定 (11/22週間予定表より)	実績
11月20日	月	・米国の超小型衛星(NRCSD#13)放出	・米国の超小型衛星(NRCSD#13)放出
11月21日	火	・米国の超小型衛星(NRCSD#13)放出	・米国の超小型衛星(NRCSD#13)放出
11月22日	水		
11月23日	木	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
11月24日	金	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
11月25日	土		
11月26日	日	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験

日付は日本時間

- 略語
- JAXA PCG: タンパク質結晶生成実験
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
  - Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
  - ExHAM: 簡易曝露実験装置
  - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業計画と実績

2017年12月5日現在

月日	曜日	予定 (11/22週間予定表より)		実績			
11月27日	月	Two-Phase Flow 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・JAXA PCG実 験 ○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション (SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視 (MAXI) ・簡易曝露実験 装置 (ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	・米国の超小型衛星 (NRCSD#13)放出後作業	Two-Phase Flow 実験	[継続実施中]	
11月28日	火			・米国の超小型衛星 (NRCSD#13)放出後作業			
11月29日	水						
11月30日	木					Two-Phase Flow 実験	
12月1日	金						
12月2日	土						
12月3日	日					Two-Phase Flow 実験	

日付は日本時間

- 略語
- JAXA PCG: タンパク質結晶生成実験
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
  - Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
  - ExHAM: 簡易曝露実験装置
  - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置